

図画工作科学習指導案

第1学年

I 題材 レッツ ゴー かみランド ー造形遊びー

II 考察

1 題材観

(1) 学習内容：学習指導要領上の位置付け

A表現（1）材料を基に造形遊びをする

(2) 伸ばしたい主な資質・能力

- ・身近な人工の材料の形や色などに関心を持ち、思いのままに造形的な活動に取り組もうとする態度
- ・身近な人工の材料の形や色などを基に、造形的な活動を思い付いたり、考えたりする力
- ・手や体全体を働かせながら材料を使い、並べ方、つなぎ方、積み方などを工夫する力

(3) 題材の価値

数種類の大きな紙を基にして、子どもたちが思い思いに楽しくつくることができるようにしたいと考え本題材を設定した。その価値は以下のとおりである。

- ・紙の感触を十分に味わいながら、体全体で楽しくつくることができる。
- ・紙の感触や紙の形や色などを基に思い付いたり、紙で遊んだりすることができる。
- ・体全体を働かせ思い付いたことを試しながら、つくり方を工夫することができる。
- ・遊びながら、形や色、つくり方の面白さ、材料の感じなどに気付くことができる。

本題材における、身体の感覚を働かせて、ものに関わる体験を積み重ねる活動の価値は以下のとおりである。

子どもたちにとって身近で、容易に加工することができる紙を使ってつくる過程で、手で紙をちぎったり、紙の中に潜ったりするなど、紙に触れることを繰り返すことができる。このような活動を通して、ものを見たり、ものに触れたりして感じるようになる。

(4) 今後の学習

ここでの学習は、3年「ダンボールをつなげたら」での、段ボール箱を切ってできる形や形の組合せ方を工夫し、いろいろな形に切ったり、切り込みを入れて組み立てたりして楽しむ学習へと発展していく。

(5) 共通事項との関連 ※指導と評価の計画参照

2 児童の実態及び指導方針

子どもたちは、1年「みんなあつまれ どうぶつひろば」において、大量の粘土を使って、動物のつくり方や粘土の変形や接合の仕方を工夫して、動物が集まる広場を立体につくる学習に取り組んできた。この学習の中で、明らかになった子どもたちの実態及び本題材を

進めるにあたっての指導方針は、次のとおりである。

- ・子どもたちは、大量に積まれた粘土を使って粘土の感触を楽しみながら、動物や動物が集まる広場をつくる活動に取り組むことができている。このような子どもたちが紙の感触を楽しみながら、紙でつくることができるよう、大量の紙に囲まれた場を設定する。
- ・子どもたちは、粘土で自由に動物をつくったり、つくったものをつなげたりしてつくりたいものを思い付くことができている。このような子どもたちが、紙の感触を体全体で味わいながら思い付くことができるよう、紙の中に潜ったり、身に付けたりするなど、様々な関わり方をすることができる大きくて張りのある紙を学習材として設定する。
- ・子どもたちは、粘土の重さや手応え、冷たさなどを感じながら体全体の感覚を働かせてつくることができる。このような子どもたちが、体全体の感覚を十分に働かせて、楽しくつくることができるよう、紙を束ねたり、丸めたりするなどして、紙の手触りや風合いの違いを感じることができる張りのある薄い紙を学習材として設定する。

Ⅲ 目標及び評価規準

Ⅳ 指導計画

※Ⅲ・Ⅳについては、指導と評価の計画参照

Ⅴ 本時の学習

- 1 ねらい 紙の大きさや手触りや風合いの違いなどを体全体で感じながら、面白い形や楽しい形を思い付いたり、遊びを考えたりする。
- 2 準備 新聞紙 ロール紙（クラフト紙，障子紙） 粘着テープ
- 3 展開

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
<p>1 本時の活動について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙がたくさんあるよ、どうしようかな。 <p>2 紙で思い付いたものをつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙の山の中に潜ってみよう。 ・紙の山の上に寝てみよう。 ・紙の上で寝転ぶと柔らかくて気持ちよいな。 ・紙の中も結構明るいな。 ・紙をちぎっている友達がいるな。もっと細くちぎってみよう。 ・巻いたら堅くなったよ。棒みたいだな。 ・体に巻き付けたら温かいよ。 ・服をつくろうかな。 ・並べてお布団にしよう。 ・帽子もつくれそうだな。 ・刀もつくって、友達と遊ぼう。 ・みんなで何かつくりたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○たくさんの紙を見た子どもたちが自由に紙に触れる時間を確保する。 ○紙の上で寝転んだり、紙の中に潜ったりするなど体全体を使って、紙との関わり方を試している子どもを賞賛する。 ○自分のつくりたいイメージに合わせて、つくり始めた子どもの活動を紹介する。 ○自分のつくりたいものがイメージできない子どもには、紙を様々な方法で加工している子どもを紹介し、試すことを促す。 ○T2は、子どもたちと一緒に遊びながら子どもたちの活動を賞賛する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">評価項目</p> <p style="text-align: center;">紙をちぎったり、丸めたり、つないだりするなどして、思い付いたものをつくらせている。 <行動（2）></p> </div>
<p>3 本時の活動を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと紙で遊びたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもたちが、紙と十分に関わって思い付いたことを賞賛する。

